

MUAMグローバル・ケイマン・トラスト

# PIMCO インカム・ファンド 米ドル

— 毎月分配クラス／年1回分配クラス

# PIMCO インカム・ファンド 円

— 毎月分配クラス／年1回分配クラス

ケイマン諸島籍オープン・エンド契約型外国投資信託

## 交付運用報告書

作成対象期間 第9期

(2021年11月1日～2022年10月31日)

### その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.sc.mufig.jp/products/trust/index.html>)の「外国投資信託運用報告書」にて電磁的方法により提供しております。

サブ・ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

**ルクセンブルク三菱UFJ**

**インベスターサービス銀行S.A.**

代行協会員

**三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社**

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、MUAMグローバル・ケイマン・トラスト(以下「ファンド」といいます。)のサブ・ファンドであるPIMCO インカム・ファンド 米ドルおよびPIMCO インカム・ファンド 円(以下、それぞれ「サブ・ファンド」といいます。)は、このたび、第9期の決算を行いました。

サブ・ファンドの投資目的は、ピムコ バミューダ インカム ファンド AのクラスF(USD)またはクラスF(JPY)(以下「投資先ファンド」と総称します。)への投資を通じて、世界(新興国を含みます。)の幅広い種類の公社債等およびそれらの派生商品等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の獲得および信託財産の長期的な成長をめざすことにあります。投資先ファンドは、ピムコ バミューダ インカム ファンド(M)(以下「マスター・ファンド」といいます。)に投資することによりその投資目的の達成を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第9期末		
クラス名	1口当たり 純資産価格	純資産総額
米ドルー毎月分配クラス(米ドル)	7.83	795,660,720.64
円ー毎月分配クラス(円)	7,392	58,411,630,105
米ドルー年1回分配クラス(米ドル)	11.44	311,741,512.79
円ー年1回分配クラス(円)	10,176	35,021,862,841
第9期		
クラス名	騰落率 (%)	1口当たり 分配金合計額
米ドルー毎月分配クラス(米ドル)	-11.97	0.37
円ー毎月分配クラス(円)	-13.55	300
米ドルー年1回分配クラス(米ドル)	-11.86	0.00
円ー年1回分配クラス(円)	-13.56	0

(注1)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注2)1口当たり分配金合計額は、税引前の1口当たり分配金の合計額を記載しています。以下同じです。

## 《運用経過》

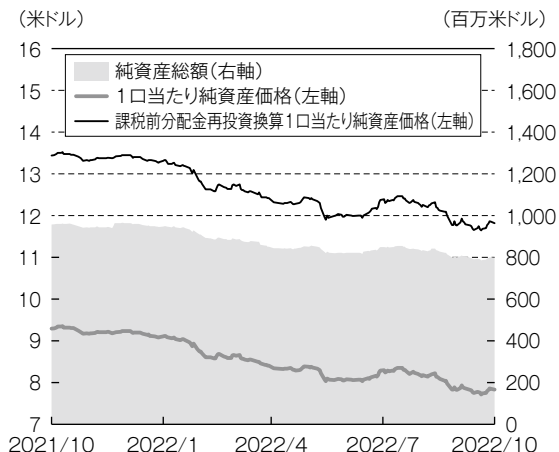
### 【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】

\* 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にサブ・ファンドへ再投資したとみなして算出したもので、サブ・ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

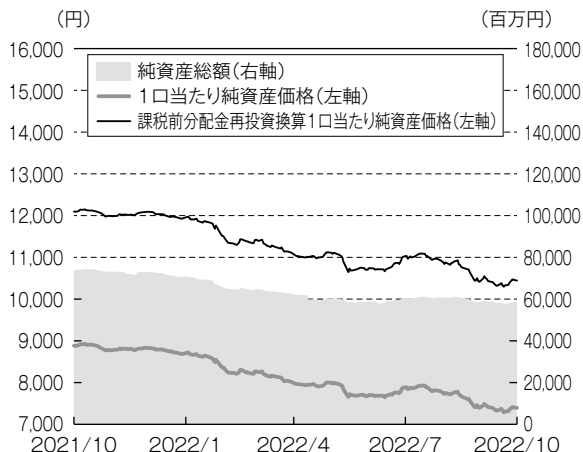
\* 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、当初発行価格(米ドルー毎月分配クラスおよび米ドルー年1回分配クラスは10米ドル、円ー毎月分配クラスおよび円ー年1回分配クラスは10,000円)を起点として計算しています。

\* サブ・ファンドにベンチマークは設定されていません。

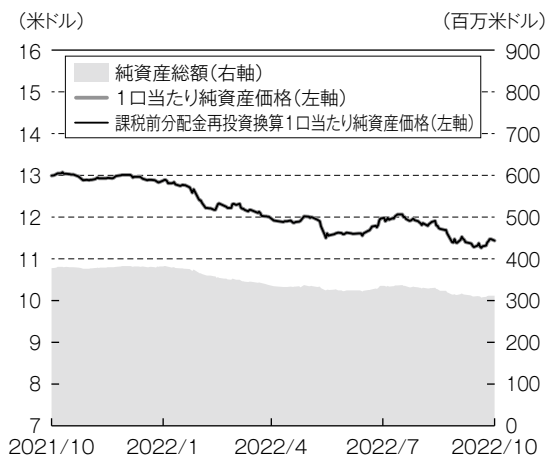
#### 米ドルー毎月分配クラス



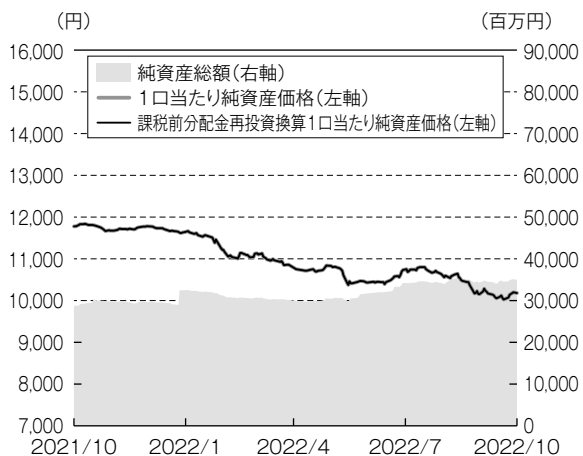
#### 円ー毎月分配クラス



#### 米ドルー年1回分配クラス



#### 円ー年1回分配クラス



		第8期末の 1口当たりの 純資産価格	第9期末の 1口当たりの 純資産価格	第9期中の 1口当たり 分配金合計額	騰落率 (%)
米ドルー毎月分配クラス	(米ドル)	9.29	7.83	0.37	-11.97
円ー毎月分配クラス	(円)	8,874	7,392	300	-13.55
米ドルー年1回分配クラス	(米ドル)	12.98	11.44	0.00	-11.86
円ー年1回分配クラス	(円)	11,773	10,176	0	-13.56

### ■1口当たり純資産価格の主な変動要因

債券利子収入を享受したこと等がプラスとなったものの、保有する一部の債券の価格が下落したこと等がマイナスとなり、1口当たり純資産価格は下落しました。

【費用の明細】

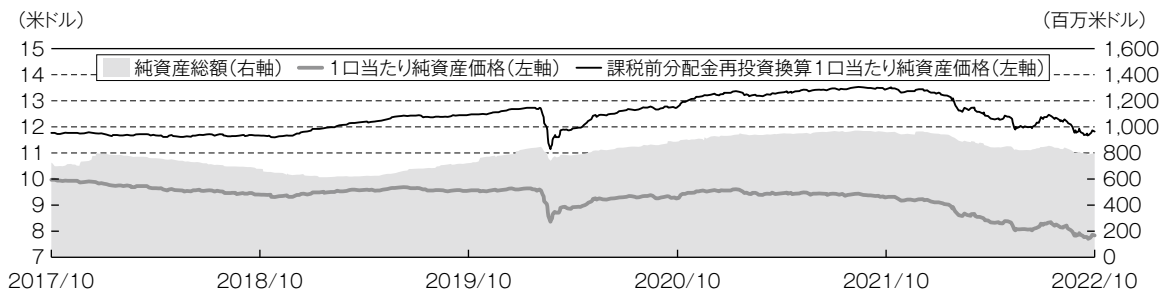
項目	項目の概要	
管理報酬 (副管理報酬を含みます。)	各サブ・ファンドの純資産総額の年率0.04%	
受託報酬	各サブ・ファンドの純資産総額の年率0.01% (ただし、最低報酬額は、年間10,000米ドルとします。)	
管理事務代行報酬兼 名義書換事務代行報酬	各サブ・ファンドの純資産総額の年率0.05% (ただし、最低報酬額は、月額3,750米ドルとします。)	
投資運用報酬 (副投資運用報酬を含みます。)	各サブ・ファンドの純資産総額の年率0.85%	
販売報酬	各サブ・ファンドの純資産総額の年率0.65%	
代行協会員報酬	各サブ・ファンドの純資産総額の年率0.05%	
その他の費用・手数料(当期)	PIMCO インカム・ ファンド 米ドル	0.02%
	PIMCO インカム・ ファンド 円	0.03%

(注) 各報酬については、目論見書に定められている料率および金額を記しています。「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となるものが含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をサブ・ファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

## 【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】

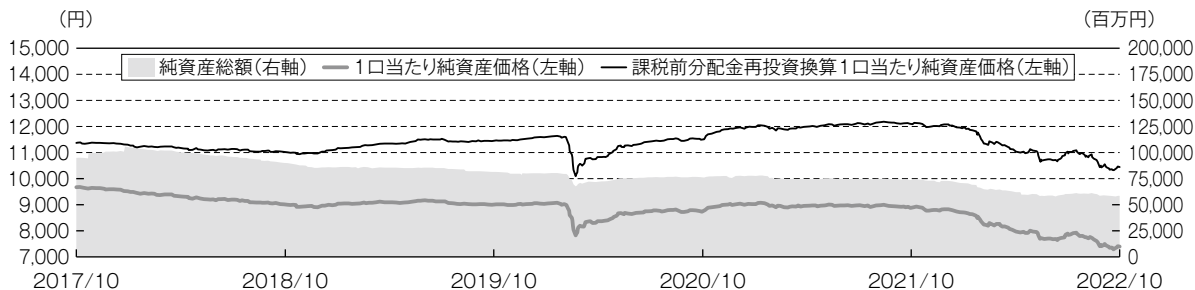
- (注1) 米ドルー毎月分配クラスは2014年3月18日に、米ドルー一年1回分配クラスは2016年3月9日に当初発行価格10米ドルで設定されました。  
円ー毎月分配クラスは2014年3月18日に、円ー一年1回分配クラスは2016年3月9日に当初発行価格10,000円で設定されました。
- (注2) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、当初発行価格(米ドルー毎月分配クラスおよび米ドルー一年1回分配クラスは10米ドル、円ー毎月分配クラスおよび円ー一年1回分配クラスは10,000円)を起点として計算しています。
- (注3) サブ・ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

### 米ドルー毎月分配クラス



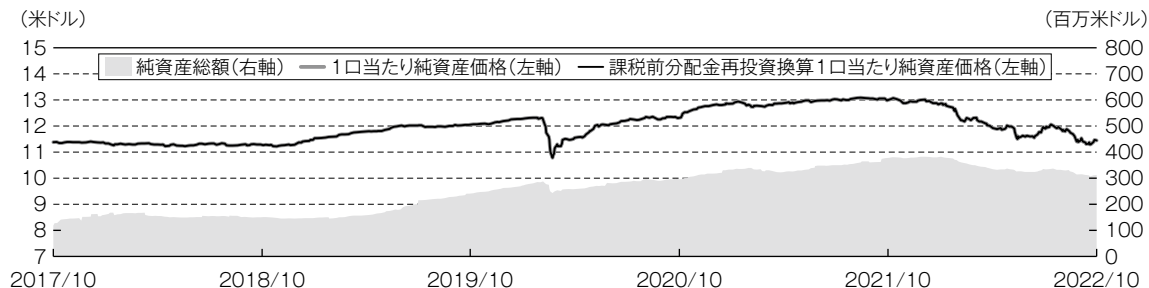
	第4期末 (2017年10月31日)	第5期末 (2018年10月31日)	第6期末 (2019年10月31日)	第7期末 (2020年10月31日)	第8期末 (2021年10月31日)	第9期末 (2022年10月31日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	9.97	9.39	9.57	9.27	9.29	7.83
1口当たり分配金合計額 (米ドル)	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48	0.37
騰落率 (%)	6.25	-1.02	7.18	2.03	5.44	-11.97
純資産総額 (米ドル)	718,459,655.85	676,888,428.34	724,327,098.46	887,563,439.38	957,414,483.47	795,660,720.64

### 円ー毎月分配クラス



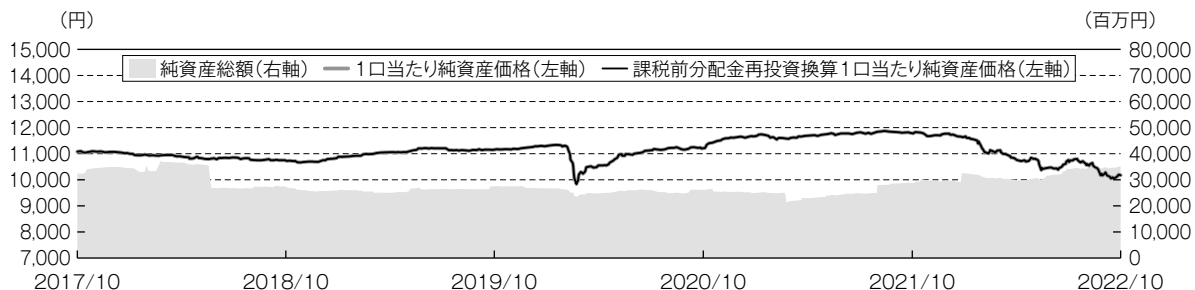
	第4期末 (2017年10月31日)	第5期末 (2018年10月31日)	第6期末 (2019年10月31日)	第7期末 (2020年10月31日)	第8期末 (2021年10月31日)	第9期末 (2022年10月31日)
1口当たり純資産価格 (円)	9,669	8,995	9,016	8,730	8,874	7,392
1口当たり分配金合計額 (円)	430	360	355	300	300	300
騰落率 (%)	4.45	-3.31	4.24	0.23	5.11	-13.55
純資産総額 (円)	94,918,089,715	89,800,459,408	81,546,244,709	75,996,120,510	73,854,837,425	58,411,630,105

## 米ドル一年1回分配クラス



	第4期末 (2017年10月31日)	第5期末 (2018年10月31日)	第6期末 (2019年10月31日)	第7期末 (2020年10月31日)	第8期末 (2021年10月31日)	第9期末 (2022年10月31日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	11.38	11.26	12.07	12.31	12.98	11.44
1口当たり分配金合計額(米ドル)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
騰落率 (%)	6.26	-1.05	7.19	1.99	5.44	-11.86
純資産総額 (米ドル)	127,466,186.20	150,465,100.15	242,002,634.12	295,257,102.19	377,657,168.71	311,741,512.79

## 円一年1回分配クラス



	第4期末 (2017年10月31日)	第5期末 (2018年10月31日)	第6期末 (2019年10月31日)	第7期末 (2020年10月31日)	第8期末 (2021年10月31日)	第9期末 (2022年10月31日)
1口当たり純資産価格 (円)	11,086	10,719	11,174	11,200	11,773	10,176
1口当たり分配金合計額(円)	0	0	0	0	0	0
騰落率 (%)	4.45	-3.31	4.24	0.23	5.12	-13.56
純資産総額 (円)	32,411,847,743	27,316,662,687	27,609,377,384	26,042,454,431	28,726,952,853	35,021,862,841

## 【投資環境について】

対象期間前半においては、米連邦準備制度理事会（FRB）が複数回の利上げを実施したことや前回の引き締め局面より早いペースでの利上げが市場において意識されたこと等が米国金利の上昇要因となりました。一方、急速な引き締めが景気減速に繋がるとの懸念や中国でのロックダウン（都市封鎖）による経済への先行き不透明感の高まり等が米国金利の低下要因となりました。対象期間後半においては、消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回る伸びとなったことや雇用統計等の経済指標が堅調な結果となったことを受けてFRBによる引き締め姿勢が強まるとの見方が広がったこと等から、米国金利は上昇しました。スプレッド（国債に対する上乘せ金利）セクターにおいては、米国金利が上昇したことやスプレッドが拡大したこと等を背景に、米国ハイイールド社債、新興国債券は共に下落しました。

## 【ポートフォリオについて】

### <PIMCO インカム・ファンド 米ドル>

●当サブ・ファンドは、外国投資信託であるピムコ バミューダ インカム ファンド A ー クラスF(USD)への投資を通じて、主として世界（新興国を含みます。以下同じです。）の幅広い種類の公社債およびそれらの派生商品を高位に組み入れる運用を行いました。

### <PIMCO インカム・ファンド 円>

●当サブ・ファンドは、外国投資信託であるピムコ バミューダ インカム ファンド A ー クラスF(JPY)への投資を通じて、主として世界の幅広い種類の公社債およびそれらの派生商品を高位に組み入れる運用を行いました。

### <各投資先ファンド>

- 各投資先ファンドは、ピムコ バミューダ インカム ファンド(M)への投資を通じて、主として世界の幅広い種類の公社債およびそれらの派生商品を高位に組み入れる運用を行いました。
- 各投資先ファンドでは、引き続き全体の金利リスク量を抑制しつつ、市場環境に応じて調整しています。足元では、利回りが上昇し、より魅力度が高まる米国について、中長期年限のリスクを積み増しました。加えて、これまで金利リスクを売り持ちとしていた英国については、トラス政権の財政政策を巡る混乱に伴う金利の急上昇に合わせて売り持ちを縮小させました。一方、相対的に投資妙味に欠けると判断した日本の金利リスクは引き続き売り持ちとしています。そのほか、米非政府系住宅ローン担保証券などの変動利付債券を組み入れることで、金利上昇に対する耐性を確保しています。セクター戦略については、米政府関連債や米政府系住宅ローン担保証券といった、リスクオフ時に底堅い値動きが期待出来る債券を組み入れ、ポートフォリオの高い安定性を維持したほか、健全性の高い住宅市場の恩恵を受けやすい米国非政府系住宅ローン担保証券への組み入れを継続しています。また、南アフリカやメキシコ等の新興国債券への投資も継続しています。
- ピムコ バミューダ インカム ファンド A ー クラスF(JPY)は、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図りました。円・米ドル為替市況の変動が基準価額に与える影響は限定的となりました。

## 【分配金について】

当期(2021年11月1日～2022年10月31日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

### 米ドルー毎月分配クラス

(金額：米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格 <sup>(注1)</sup>	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 <sup>(注2)</sup> )	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 <sup>(注3)</sup>
2021年11月22日	9.24	0.04 (0.43%)	-0.05
2021年12月20日	9.18	0.03 (0.33%)	-0.03
2022年1月20日	9.12	0.03 (0.33%)	-0.03
2022年2月22日	8.96	0.03 (0.33%)	-0.13
2022年3月22日	8.62	0.03 (0.35%)	-0.31
2022年4月20日	8.50	0.03 (0.35%)	-0.09
2022年5月20日	8.29	0.03 (0.36%)	-0.18
2022年6月21日	8.06	0.03 (0.37%)	-0.20
2022年7月20日	8.09	0.03 (0.37%)	0.06
2022年8月22日	8.21	0.03 (0.36%)	0.15
2022年9月20日	8.04	0.03 (0.37%)	-0.14
2022年10月20日	7.71	0.03 (0.39%)	-0.30

(注1) 当該分配落日が評価日でない場合には、当該分配落日の直後の評価日における1口当たり純資産価格とします。下記(注2)から(注4)を含め、以下本「分配金について」において同様とします。

(注2) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、サブ・ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%) =  $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注3) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 =  $b - c$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注4) 2021年11月22日の直前の分配落日(2021年10月20日)における1口当たり純資産価格は、9.33米ドルでした。



## 円—毎月分配クラス

(金額：円)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2021年11月22日	8,834	25 (0.28%)	-54
2021年12月20日	8,771	25 (0.28%)	-38
2022年1月20日	8,722	25 (0.29%)	-24
2022年2月22日	8,579	25 (0.29%)	-118
2022年3月22日	8,239	25 (0.30%)	-315
2022年4月20日	8,110	25 (0.31%)	-104
2022年5月20日	7,910	25 (0.32%)	-175
2022年6月21日	7,684	25 (0.32%)	-201
2022年7月20日	7,705	25 (0.32%)	46
2022年8月22日	7,796	25 (0.32%)	116
2022年9月20日	7,608	25 (0.33%)	-163
2022年10月20日	7,285	25 (0.34%)	-298

(注)2021年11月22日の直前の分配落日(2021年10月20日)における1口当たり純資産価格は、8,913円でした。

## 米ドル—年1回分配クラス

当期中の分配金は0.00米ドルでした。

## 円—年1回分配クラス

当期中の分配金は0円でした。

## 《今後の運用方針》

<各サブ・ファンド>

◎今後の運用方針

- 運用の基本方針にしたがって、引き続き外国投資信託への投資を通じて、主として世界の幅広い種類の公社債およびそれらの派生商品を高位に組み入れる運用を行います。

<各投資先ファンド>

◎運用環境の見通し

- インフレ率の上昇や中央銀行による急速な金融引き締めに加え、ロシアによるウクライナ侵攻といった地政学リスクの高まりを受けて、先進国を中心に景気後退に陥る可能性が高まったとみています。景気後退に陥った場合には2008年の金融危機や2020年の新型コロナウイルスショックほど深刻なものにはならないとみています。一方、過去のショック時と比較して既に政府債務や中央銀行のバランスシートが肥大化していることから金融・財政政策による景気へのサポート余地は限定的であり、迅速な政策対応は期待できないものと考えています。結果として、景気後退の期間は長期化し、その後の回復にも相応の時間を要するとみています。かかる環境下、投資においては引き続き慎重なリスク管理が求められると考えており、投資の元本保全を意識しつつ、魅力的な水準のインカム収入を獲得していくことは、中長期的にも引き続き重要なテーマであると考えています。

◎今後の運用方針

- ピムコ バミューダ インカム ファンド(M)への投資を通じて、主として世界の幅広い種類の公社債およびそれらの派生商品を高位に組み入れる運用を行います。
- 運用戦略としてはリスク取得に過度に傾斜しない投資指針を通じ、市場が軟調となる局面において下値を抑制すると共に、確信度の高いボトムアップの投資アイデアに基づく魅力的な投資機会の発掘に取り組んでいます。引き続き、質の良い高利回り資産を中心とする「攻め」の資産と、リスクオフ時にポートフォリオを安定化させる「守り」の資産のバランスを重視し、「良質なインカム」を着実に積み上げることで、引き続き元本の保全と安定的なインカムの提供を目指します。
- ピムコ バミューダ インカム ファンド A - クラスF(JPY)は、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同程度度の米ドル売り円買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。

## 《お知らせ》

- 該当事項はありません。

## 《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍オープン・エンド契約型外国投資信託	
信託期間	サブ・ファンドは、管理会社が受託会社と協議の上、存続期間の延長を決定しない限り、2029年10月31日に終了します。償還金の支払いについては、償還日以降、相応の日数がかかることがあります。	
運用方針	サブ・ファンドの投資目的は、投資先ファンドへの投資を通じて、世界(新興国を含みます。)の幅広い種類の確定利付商品およびそれらの派生商品に主として投資することにより、利子収益の獲得および信託財産の長期的な成長を目指すことにあります。	
主要投資対象	サブ・ファンド	ビムコ バミューダ インカム ファンド AのクラスF(USD)またはクラスF(JPY)
	投資先ファンド	ビムコ バミューダ インカム ファンド(M)
	マスター・ファンド	世界の幅広い種類の公社債等およびそれらの派生商品等
ファンドの運用方法	<p>サブ・ファンドは、投資先ファンドに投資を行うファンド・オブ・ファンズです。</p> <p>投資先ファンドは、マスター・ファンドへの投資を通じて、世界の幅広い種類の公社債等およびそれらの派生商品等に実質的な投資を行います。</p> <p>マスター・ファンドは、投資適格未満の公社債等にも投資を行います。</p> <p>マスター・ファンドは、主として米ドルの通貨エクスポージャーを持ちますが、米ドル以外の通貨エクスポージャーを総資産の10%以内で持つことができます。</p> <p>PIMCO インカム・ファンド 米ドル は、為替ヘッジを行いません。</p> <p>PIMCO インカム・ファンド 円 は、米ドル売り、円買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。</p>	
主な投資制限	<p>各サブ・ファンドに適用される投資制限は以下のとおりです。</p> <p>(イ) サブ・ファンドについて空売りされる有価証券の時価総額は、サブ・ファンドの純資産総額を超えないものとします。</p> <p>(ロ) サブ・ファンドの純資産総額の10%を超えて、借入れを行うものではありません。ただし、合併等の特別緊急事態により一時的に、かかる10%を超える場合はこの限りではありません。</p> <p>(ハ) 管理会社の運用する証券投資信託およびミューチュアル・ファンドの全体において、一発行会社の議決権総数の50%を超えて投資を行ってはなりません。かかる制限は、他の投資信託に対する投資には適用されません。 (注) 上記の比率の計算は、買付時点基準または時価基準のいずれかによることができます。</p> <p>(ニ) サブ・ファンドは、私募株式、非上場株式または不動産等、流動性に欠ける資産に対しその純資産の15%を超えて投資を行いません。ただし、日本証券業協会が定める外国投資信託受益証券の選別基準(随時改訂または修正されることがあります。)(外国証券の取引に関する規則第16条)に要求されるとおり、価格の透明性を確保する方法が取られている場合はこの限りではありません。 (注) 上記の比率の計算は、買付時点基準または時価基準のいずれかによることができます。</p> <p>(ホ) 投資対象の購入、投資および追加の結果、サブ・ファンドの資産額の50%を超えて、日本の金融商品取引法第2条第1項に規定される「有価証券」の定義に該当しない資産を構成する場合、かかる投資対象の購入、投資および追加を行いません。</p> <p>(ヘ) 管理会社が自己または第三者の利益を図る目的で行う取引等、受益者の保護に欠け、またはサブ・ファンドの資産の適正な運用を害するサブ・ファンドのための管理会社の取引は、すべて禁止されます。</p> <p>(ト) サブ・ファンドは、日本証券業協会の「外国証券の取引に関する規則」(改訂済)第16条第9号に従い、信用リスクを管理する方法として管理会社が定めた合理的な方法に反する取引を行いません。</p> <p>デリバティブ取引については、ヘッジ目的でのみ行なうものとします。サブ・ファンドは、あらかじめ管理会社が定めた合理的な方法により算出した額がサブ・ファンドの純資産を超えることとなる場合には、デリバティブ取引またはそれに類似した取引(以下「デリバティブ取引等」といいます。)を行うことができません。管理会社および投資運用会社は、譲渡性のある証券を投資対象とする投資信託(以下「UCITS」といいます。))に適用される2011年欧州共同体規則に定められたリスク管理手法に基づき、サブ・ファンドに関するデリバティブ取引等のリスクを管理します。</p> <p>&lt;投資先ファンドの信用リスク管理方法&gt; 投資先ファンドの管理会社または投資顧問会社は、投資先ファンドにおいて、アイルランドのUCITS規則およびアイルランド中央銀行が発行したUCITS通達に記載されるリスク管理方法に基づき信用リスクを管理します。</p>	
分配方針	<p>管理会社は、その裁量により、毎月20日(当該日がファンド営業日でない場合は翌ファンド営業日)に、純投資収入、純実現・未実現キャピタルゲインおよび分配可能資本から分配を宣言することができます。毎月20日(当該日がファンド営業日でない場合は翌ファンド営業日)が分配金落ち日となります。また、分配金落ち日の前ファンド営業日が分配基準日となります。</p>	

## 《参考情報》

### 【サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

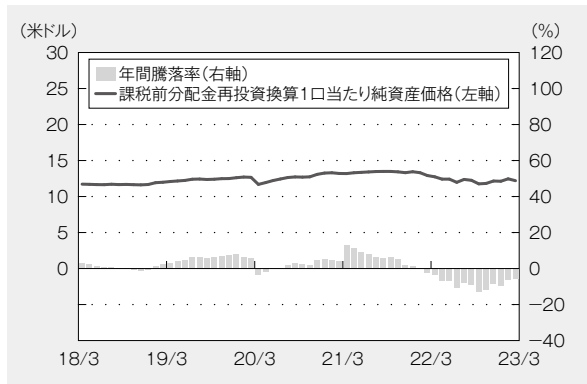
各クラス受益証券の課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格・年間騰落率の推移

2018年3月～2023年2月の5年間に於ける各クラス受益証券の課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格(各月末時点)と、年間騰落率(各月末時点)の推移を示したものです。

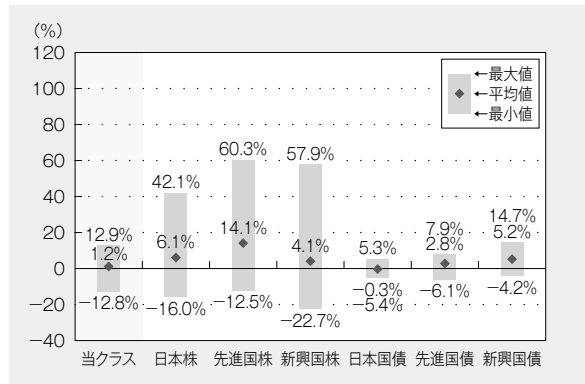
各クラス受益証券と代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

このグラフは、各クラス受益証券と代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、左のグラフと同じ期間における年間騰落率(各月末時点)の平均と振れ幅を、サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。

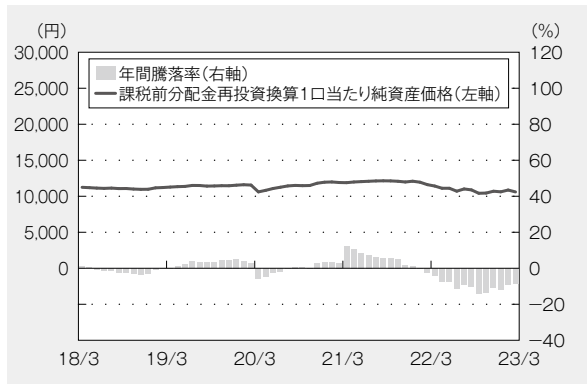
#### 米ドル毎月分配クラス



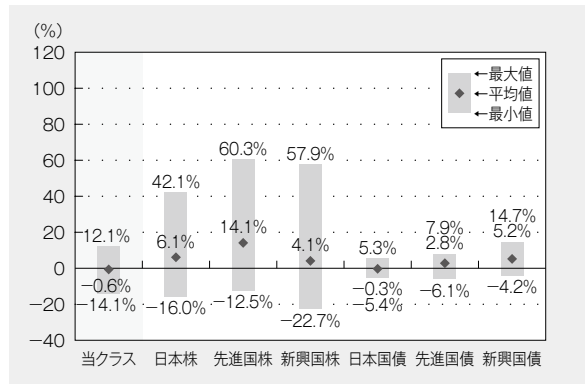
#### 米ドル毎月分配クラス



#### 円毎月分配クラス

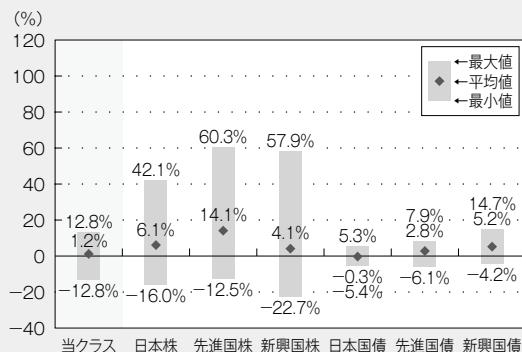
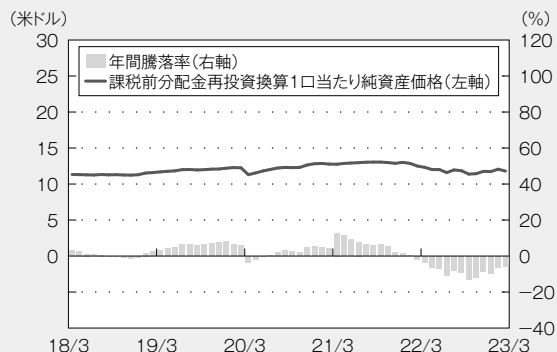


#### 円毎月分配クラス



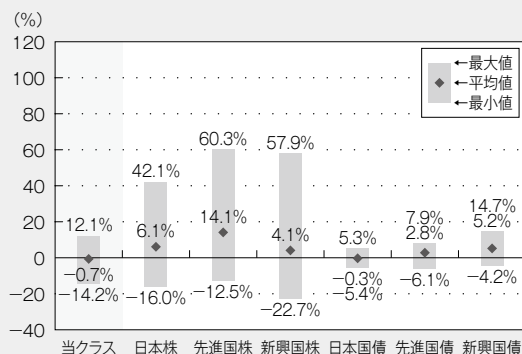
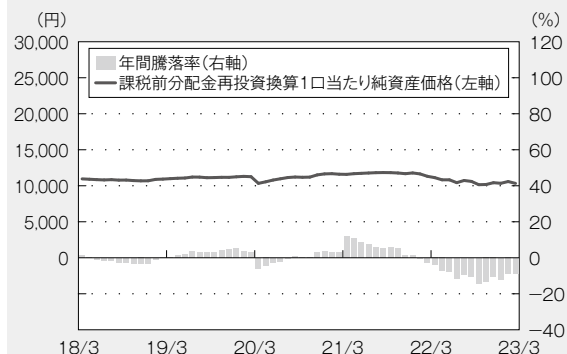
## 米ドル一年1回分配クラス

## 米ドル一年1回分配クラス



## 円一年1回分配クラス

## 円一年1回分配クラス



出所：投資運用会社、Bloomberg L.P.および指数提供会社のデータを基に森・濱田松本法律事務所が作成

- ※課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時に各クラス受益証券へ再投資したとみなして算出したものです。
- ※各クラス受益証券の年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。
- ※代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。
- ※各クラス受益証券と代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。
- ※各クラス受益証券の課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格および年間騰落率は、実際の1口当たり純資産価格およびそれに基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ※各クラス受益証券の年間騰落率は、各受益証券の参照通貨建てで計算されており、円貨に換算されておられません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。
- ※サブ・ファンドは代表的な資産クラスのすべてに投資するものではありません。

●各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込み)

先進国株・・・FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)

新興国株・・・S&P新興国総合指数

日本国債・・・ブルームバーグE1年超日本国債指数

先進国債・・・FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債指数(円ベース)

(注)S&P新興国総合指数は、Bloomberg L.P.で円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)の指数値およびTOPIXに係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。

FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)、FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)およびFTSE新興国市場国債指数(円ベース)に関するすべての権利は、London Stock Exchange Group plcまたはそのいずれかのグループ企業に帰属します。各指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income LLCまたはそれらの関連会社等によって計算されています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ企業は、指数の使用、依存または誤謬から生じるいかなる負債について、何人に対しても一切の責任を負いません。

## 《サブ・ファンドデータ》

【サブ・ファンドの組入資産の内容】

(第9期末現在)

### PIMCO インカム・ファンド 米ドル

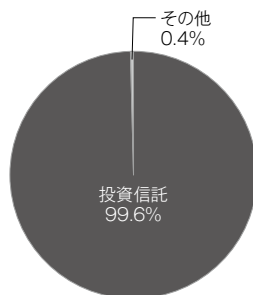
#### ●組入上位資産

(組入銘柄数：1銘柄)

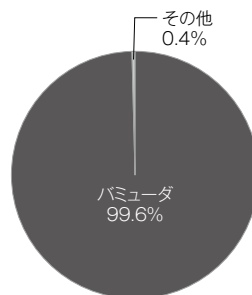
銘柄	組入比率(%)
ピムコ パミュューダ インカム ファンド AークラスF(USD)	99.6

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。

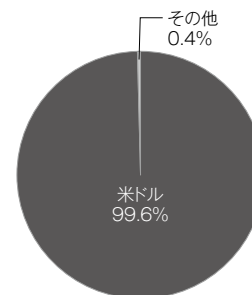
#### ●資産別配分



#### ●国別配分



#### ●通貨別配分



(注1)上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

### 【純資産等】

項 目	第9期末	
純 資 産 総 額	1,107,402,233.43米ドル	
発 行 済 口 数	毎月分配クラス	101,588,858口
	年1回分配クラス	27,256,238口
1口当たり純資産価格	毎月分配クラス	7.83米ドル
	年1回分配クラス	11.44米ドル

第9期			
	販売口数	買戻口数	発行済口数
毎月分配クラス	14,932,730 (14,932,730)	16,435,276 (16,435,276)	101,588,858 (101,588,858)
	年1回分配クラス	4,617,737 (4,617,737)	6,445,615 (6,445,615)

(注) ( ) の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

### 【サブ・ファンドの投資する投資先ファンドの概要】

#### ●組入上位資産

銘柄	組入比率(%)
ピムコ パミュューダ インカム ファンド(M)	95.8

【サブ・ファンドの組入資産の内容】

(第9期末現在)

PIMCO インカム・ファンド 円

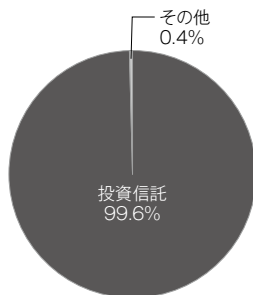
●組入上位資産

(組入銘柄数：1銘柄)

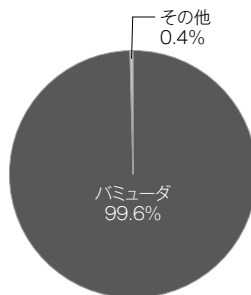
銘柄	組入比率(%)
ピムコ パミューダ インカム ファンド AークラスF(JPY)	99.6

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。

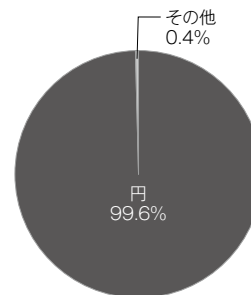
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

【純資産等】

項 目	第9期末	
純 資 産 総 額	93,433,492,946円	
発 行 済 口 数	毎月分配クラス	7,902,303口
	年1回分配クラス	3,441,600口
1口当たり純資産価格	毎月分配クラス	7,392円
	年1回分配クラス	10,176円

第9期			
	販売口数	買戻口数	発行済口数
毎月分配クラス	983,136 (983,136)	1,403,010 (1,403,010)	7,902,303 (7,902,303)
	1,256,949 (1,256,949)	255,453 (255,453)	3,441,600 (3,441,600)

(注) ( ) の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

【サブ・ファンドの投資する投資先ファンドの概要】

●組入上位資産

銘柄	組入比率(%)
ピムコ パミューダ インカム ファンド(M)	91.0



## [ご参考]ピムコ バミューダ インカム ファンド(M)

以下は、ピムコ バミューダ インカム ファンド(M)の直近の計算期間(2021年11月1日～2022年10月末日)および当該計算期間末日現在の情報です。

### ●基準価額の推移

(2021年11月1日～2022年10月末日)



### ●1万口当たりの費用明細

(2021年11月1日～2022年10月末日)

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

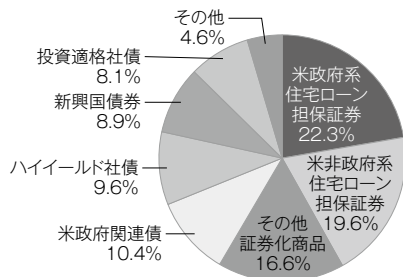
### ●組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1,888銘柄)

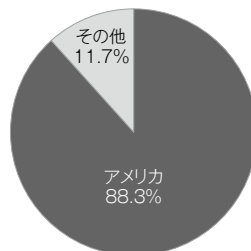
(2022年10月末日現在)

	銘柄名	国	業種/種別	組入比率
1	FNMA TBA 3.5% DEC 30YR	アメリカ	米政府系住宅ローン担保証券	6.2%
2	GNMA II TBA 4.0% NOV 30YR JMBO	アメリカ	米政府系住宅ローン担保証券	4.9%
3	GNMA II TBA 3.0% DEC 30YR JMBO	アメリカ	米政府系住宅ローン担保証券	2.6%
4	FNMA TBA 3.0% DEC 30YR	アメリカ	米政府系住宅ローン担保証券	1.7%
5	U S TREASURY NOTE	アメリカ	米政府関連債	1.1%
6	U S TREASURY INFLATE PROT BD	アメリカ	米政府関連債	1.1%
7	IHEARTCOMMUNICATIONS INC TL B IL USD	アメリカ	バンクローン	1.0%
8	SOUTH AFRICA (REP) BD SER R186	南アフリカ	新興国債券	1.0%
9	GNMA II TBA 3.0% NOV 30YR JMBO	アメリカ	米政府系住宅ローン担保証券	1.0%
10	LMAT 2020-RPL1 A1 WM50 WC4.2242 144A	アメリカ	米非政府系住宅ローン担保証券	0.8%

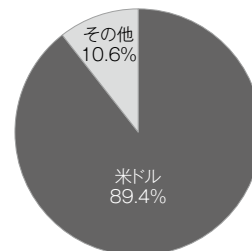
### ●資産別配分



### ●国別配分



### ●通貨別配分



(注1) 比率はマスター・ファンドの債券評価額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

(注2) 上記グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.0%にならない場合があります。